

シリーズ 人権 (50)

「男女の差ってなに？」

私は以前、男性ばかりの職場の初の女性管理職として勤めていました。

お客様から苦情を多く受ける職場でもありました。その職場の窓口では、対応に出ようとした私に対して、「誰か他におらんの」「男の人に代わって」「あんた(女)では話にならん」という言葉を度々言われました。私がこの担当の責任者なのにと悔しさとともに情けない気持ちが入り込んできました。しかし、もしここで他の男性職員に交代すれば、お客様や職場の仲間から「やっぱり女性には無理だ、任せられない」と判断され、私個人だけではなく、女性全体がそのように評価されるのではないかと、それだけは避けなければと考えました。そして、私がこの担当の責任者であることを相手に伝え、男女に関係なく、誰が対応しても同じだという思いで、毅然とした対応をすることに努めました。

まだまだ男性優位社会だと思っている人がいるのだと実感するとともに、少しずつでもそうした意識を変えてもらえたら、という気持ちにもなりました。

それでも、私の心が折れそうなとき、

職場の仲間から一人の管理職として認められたことや、お客様から「女性のあなたで相談しやすかった」という言葉を掛けられたことなどが励みになり、今まで仕事が続けられた気がします。

私が出産・育児をしていたころは育児休暇制度もなく、大変な苦勞がありました。しかし、さまざまな取り組みの成果で「イクメン」という言葉が聞かれ、男性も育児に積極的に参加するような時代になりました。

私は、今までの体験から「仕事・家事・育児の能力に男女差はない、一歩踏み出すやる気だけ」「相手を理解し認める気持ちの大切さ」「協力があればさらなる自分磨きができる」など多くの気付きがありました。私はその体験を生かし、女性の視点を大切にしたい、男女が共に働きやすい職場環境を整え、自分の仕事に誇りを持つことのできる後輩の指導と育成にも努めたいと思います。

イクメン…子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性のこと。または、将来そんな人生を送ろうと考えている男性のこと

心、ふれあい、市民のつどい

とき 12月1日(土)13時30分～(開場は13時～)


ところ 久居総合福祉会館

定員 190人(要整理券) ※整理券は10月23日(火)から久居総合支所生活課、久居駅前出張所、栗葉出張所、榊原出張所で配布。1人につき3枚まで

内容

●久居農林高校人権サークル「スマイル」による

人権メッセージ

- 劇団うりんこの演劇「がらんくたうんストーリー」…子どもたちが友達づくりや遊び場探しを通じて大人と関わっていく中で、それぞれの思いや考え方の違いに気付き、子どもの人権について考える、歌あり、踊りありの楽しい舞台
- 人権パネルの展示 

がらんくたうんストーリーの一幕

問い合わせ 久居総合支所生活課 ☎255-8841 FAX255-0960